

## カードゲーム通じ 森林保全を考える

甲府で体験会

サッカーJ2ヴァンフォーレ甲府（VF甲府）は14日、甲府・小瀬スポーツ公園体育館で、森林に関心を持ち持続的な活用に必要な行動を考えてもらおうと山梨日日新聞社



が開発したオリジナルカードゲーム「moritomiirai（モリトミライ）」の体験会を開いた。写真。

ホーム長崎戦の「ヴァンフォーレSDGスター」に合わせて開催。お笑い芸人のいしそなたろうさんが進行役を務め、森や山を取り巻く現状について説明した。

参加した30人は、一つの町に住んでいるという設定の下、それぞれが「木を切る人」「販売会社の社員」など10の役割のうちの一つを担当。「材木を販売する」「スマート林業を導入する」といった行動を示すカードを使い、「森への愛情」など森林の現状を示す四つのメーターに配慮しながら、設定された資金の獲得などのゴールを目指した。山梨・日下部小6年の長田実桜さんは「最初は難しかったが、後半になってみんなが交流したり、協力したりして、町全体が良くなった。まだ体験していない人にも体験してもらいたい」と話していた。